



いちよう

(題字 : 6 年 大森 采月)

令和 2 年 6 月 5 日

No.1 2 号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉

<児童数 204名>

TEL 623-6019

6 / 2 の「全校朝会」について

～プロジェクトチーム委員会企画の心あたたまる朝会～

今週の火曜日、6 年あおぞら学年プロジェクトチーム委員会の企画による心あたたまる朝会が催されました。本年度新しく着任した先生方、5 年たいよう学年に転入されたお友達、そして、28 名の大切な新入生をあたたかく迎えてくれました。

その活動の様子は、松村スタジオさん（本校 0B）がカメラに収めてくれていきます。本年度初めての朝会でありましたが、緊張の中にも「ぬくもり」が感じられ、いちようの子の心がひとつになった感動の一時でした。代表の 6 年川合海音さんが次のような言葉で迎えてくれました。まさしく「つながり」と「自主性」です。

日高伸哉校長先生、清野真美子先生、熊倉絵里子先生、高橋なお先生、金山恵里子先生、鈴木綾先生、國井智子先生、野村文代先生、武田博先生、少し遅くなってしまいましたが、ようこそ第四小学校においで下さいました。わたしは、いちようっ子みなで、先生方を歓迎する日を楽しみにしていました。これから、わたしたち、いちようっ子をどうぞよろしくお願いします。

わたしが思う四小のいいところを二つご紹介したいと思います。

まず一つ目は「つながり」です。四小は児童数が少ないということもあり、児童の仲がとていいです。そして、クルーズ班では、掃除やさまざまな活動を一緒にしています。一緒にすることで、学年関係なく仲良くなって、つながりが生まれます。協力したり、支え合ったりしながら四小のくらしを創っています。この、つながりは、四小のみんながとても大切にしていることです。

二つ目は、「自主性」です。四小では、全校朝会の進行や三大行事の計画、そして、毎日の時間割などを、先生方ではなく、自分たちでしています。その中でも、全校をまきこむような活動を計画するときは、手をぬくわけにはいきません。だから、計画する高学年はもちろん、協力する中学年、低学年の力も必要で、全員が本気で取り組めるような活動を考えるようにしています。このように四小は、全校生で協力して、一つ一つの活動を創っています。自分たちの力ですることで、みんなとのつながりが深まっていると、私は思っています。

最後にそんな四小の仲間たちを紹介します。

まずは六年生のあおぞら学年です。最高学年としての自覚をもとうと気合いが入っています。

次に五年生、たいよう学年です。たいよう学年は六年生と一緒に活動することも多く、私たちを支えてくれる大事な存在です。個性豊かなところも魅力です。

次に、四年生、きずな学年です。きずな学年は面白い人が多く、まとまり感があって、協力し合える学年です。

次に三年生、ひかり学年です。去年のひかり学年は、一年生をリードしていて、自覚がすごいなあと思いました。

二年生、にじいろ学年です。小さくてかわいかった一年生の頃とは違って、新一年生のお兄さんお姉さんになりました。

最後に一年生です。これからよろしくお願いします。どの学年も、みんないいところをもっていて、それを出し合って、四小を創っています。

全校で行う行事がなかなかできませんが、先生方と早く仲良くなりたいです。あらためまして、どうぞよろしくお願いします。

(六年 川合海音)